

平成 26 年 11 月 23 日（日）施行

第 176 回 全経簿記能力検定試験 2 級 商業簿記 解説

第 1 問

1. 荷為替手形を引き受けたときは為替手形の引き受けと同じ処理をする。
2. 前期末に以下の処理をしている。

(借) 受取家賃	15,000	(貸) 前受家賃	15,000
----------	--------	----------	--------

これを当期首に再振替。

3. 損失なので繰越利益剰余金が減少する。
4. 割引料 ¥4,000 を引かれた ¥296,000 が手取り金額となる。これを当座預金に預け入れる。
5. この取引の仕訳は以下のとおりとなり、このうち岩手支店の仕訳が解答となる。

本店 (借) 宮城支店	35,000	(貸) 岩手支店	35,000
岩手支店 (借) 本店	35,000	(貸) 現金	35,000
宮城支店 (借) 旅費	35,000	(貸) 本店	35,000

6. この貨物自動車の帳簿価額は ¥3,600,000 - ¥3,150,000 = ¥450,000 である。
これを ¥180,000 で売却するので、¥180,000 - ¥450,000 = △¥270,000 (売却損)
7. 払込金額は、発行価額 ¥5,000,000 × (¥97 / ¥100) = ¥4,850,000
社債の発行に要した諸費用は社債発行費勘定で処理する。

第 2 問

① 売上総利益

純売上高 = 当期総売上高 - 当期売上返品高 = ¥4,173,000 - ¥48,000 = ¥4,125,000

純仕入高 = 当期総仕入高 - 当期仕入返品高 = ¥3,156,000 - ¥33,000 = ¥3,123,000

仕 入		損益計算書	
期首商品	1,130,000	売上原価	2,933,000
純仕入高	3,123,000	売上原価	2,933,000
		原価以外の費用	853,000
		期末商品	1,320,000
		当期純利益	538,000
		純売上高	4,125,000
		売上以外の収益	199,000

売上原価 = 期首商品 + 純仕入高 - 期末商品

= ¥1,130,000 + ¥3,123,000 - ¥1,320,000 = ¥2,933,000

売上総利益 = 純売上高 - 売上原価 = ¥4,125,000 - ¥2,933,000 = ¥1,192,000

② 当期純利益

収益 - 費用 = (¥4,125,000 + ¥199,000) - (¥2,933,000 + ¥853,000) = ¥538,000

③期末純資産(資本)

期首貸借対照表				期末貸借対照表			
現金・預金	193,000	買掛金	668,000	現金・預金	289,000	買掛金	X
売掛金	754,000			売掛金	889,000		
商品	1,130,000	期首純資産	1,409,000	商品	1,320,000	期末純資産	1,797,000

期首純資産＝期首資産－期首負債

$$=(¥193,000+¥754,000+¥1,130,000)-¥668,000=¥1,409,000$$

ここで、

期末純資産＝期首純資産＋資本追加元入高－資本引出高＋当期純利益より

$$=¥1,409,000+¥130,000-¥280,000+¥538,000=¥1,797,000$$

④期末買掛金

期末貸借対照表の借方合計は $¥289,000+¥889,000+¥1,320,000=¥2,498,000$

よって

期末買掛金 X は $¥2,498,000-¥1,797,000=¥701,000$

第3問

解答用紙と問題文から、**現金出納帳、当座預金出納帳、売上帳、仕入帳**を特殊仕訳帳として用いている。勘定科目のうち、現金、当座預金、売上、仕入に関しては、月末に合計転記するので、仕訳帳の元丁欄は「✓」を記入する。買掛金は仕入先(買掛金)元帳を設けてある取引先に関してはその丁数を記入する。

				(元丁)					(元丁)
10月18日	(借)	買掛金	250,000	仕1	(貸)	当座預金	250,000	✓	
		(大阪商店)							
21日	(借)	仕入	50,000	✓	(貸)	当座預金	50,000	✓	
		仕入	130,000	✓		買掛金	130,000		仕2
						(京都商店)			
		仕入	8,000	✓		現金	8,000	✓	
23日	(借)	買掛金	16,000	仕2	(貸)	仕入	16,000	✓	
		(京都商店)							
30日	(借)	現金	100,000	✓	(貸)	当座預金	100,000	✓	

当座預金の繰越金額は

$$\text{前月繰越}+10\text{月預入}-10\text{月引出合計}¥387,000+¥1,244,000-¥1,203,000=¥428,000$$

第4問

1. 売上傳票

(借) 売掛金	380,000	(貸) 売上	380,000
(借) 売掛金	290,000	(貸) 売上	290,000

※5伝票制なので、売上傳票の金額はすべて売掛金となる。

2. 仕入伝票

(借) 仕入	270,000	(貸) 買掛金	270,000
(借) 仕入	240,000	(貸) 買掛金	240,000
(借) 買掛金	23,000	(貸) 仕入	23,000

※5伝票制なので、仕入伝票の金額はすべて買掛金となる。

3. 入金伝票

(借) 現金	70,000	(貸) 前受金	70,000
(借) 現金	65,000	(貸) 売掛金	65,000

4. 出金伝票

(借) 前払金	100,000	(貸) 現金	100,000
(借) 当座預金	150,000	(貸) 現金	150,000
(借) 買掛金	185,000	(貸) 現金	185,000

5. 振替伝票

(借) 受取手形	50,000	(貸) 売掛金	50,000
(借) 前受金	80,000	(貸) 売掛金	80,000

第5問

未達事項

1.	(借) 買掛金	30,000	(貸) 本店	30,000
2.	(借) 支店	55,000	(貸) 売掛金	55,000
3.	(借) 仕入	75,000	(貸) 本店	75,000
4.	(借) 現金	45,000	(貸) 支店	45,000

支店		本店	
※624,000	45,000		※529,000
55,000	634,000	634,000	30,000
			75,000

※残高試算表より

以上より、本店勘定・支店勘定の一致する金額は¥634,000

また本支店合併後の買掛金の残高は

¥480,000 (本店分) + ¥450,000 (支店分) - ¥30,000 (未達分) = ¥900,000

決算整理事項

1. 売上原価の計算

支店の期末商品棚卸高は未達分を加えて $\yen120,000 + \yen75,000 = \yen195,000$

期首商品棚卸高は残高試算表より

本店分 + 支店分 = $\yen350,000 + \yen195,000 = \yen545,000$

期末商品棚卸高は

本店分 + 支店分 = $\yen320,000 + \yen130,000 = \yen450,000$

(借) 仕 入	545,000	(貸) 繰越商品	545,000
繰越商品	450,000	仕 入	450,000

2. 貸倒引当金の計上

売掛金の残高は $\yen535,000$ (本店分) + $\yen470,000$ (支店分) - $\yen55,000$ (未達分) = $\yen950,000$

$\yen950,000 \times 4\% = \yen38,000$

洗い替え法で処理するので、貸倒引当金残高 (本店 $\yen5,000$ + 支店 $\yen2,000$) $\yen7,000$ を戻入れた後に $\yen38,000$ を繰り入れる。

(借) 貸倒引当金	7,000	(貸) 貸倒引当金戻入	7,000
貸倒引当金繰入	38,000	貸倒引当金	38,000

3. 減価償却費の計算

(本店備品)

取得価額は $\yen1,100,000$ 、耐用年数 5 年、残存価額はゼロなので、年間の減価償却費は、

$\yen1,100,000 / 5 \text{年} = \yen220,000$

(借) 減価償却費	220,000	(貸) 備品減価償却累計額	220,000
-----------	---------	---------------	---------

(支店備品)

取得価額は $\yen800,000$ 、耐用年数 5 年、残存価額はゼロなので、年間の減価償却費は、

$\yen800,000 / 5 \text{年} = \yen160,000$

(借) 減価償却費	160,000	(貸) 備品減価償却累計額	160,000
-----------	---------	---------------	---------

4. 消耗品費の処理 (本店・支店合計)

(借) 消耗品	54,000	(貸) 消耗品費	54,000
---------	--------	----------	--------

消耗品費は $\yen192,000 + \yen153,000 - \yen54,000 = \yen291,000$

5. 支払家賃の繰延べ (本店・支店合計)

(借) 前払家賃	100,000	(貸) 支払家賃	100,000
----------	---------	----------	---------

支払家賃は $\yen520,000 + \yen420,000 - \yen100,000 = \yen840,000$

6. 支払利息の見越し (本店・支店合計)

(借) 支払利息	10,000	(貸) 未払利息	10,000
----------	--------	----------	--------

支払利息は $\yen20,000 + \yen10,000 = \yen30,000$

7. 受取地代の繰延べ (本店・支店合計)

(借) 前受地代	48,000	(貸) 受取地代	48,000
----------	--------	----------	--------

受取地代は $\yen240,000 - \yen48,000 = \yen192,000$